

特集 元気に出会う!

ネット社会に響く
僧侶の言葉

azbil FIELD | 三井住友海上 千葉ニュータウンセンター
東神開発株式会社

azbil MIND | 総合的なバルブソリューションを提供
グローバルのお客さまのニーズを満たす



School & my friends makes me smile



今月の Key Word

メール

ネット社会に響く

僧侶の言葉

僧侶／アナウンサー

かわむらみょうけい
川村妙慶さん

僧侶・川村妙慶さんのブログ「日替わり法話」は、

1日約6万アクセスを集める人気サイト。

自分の生き方について、ふと考えるきっかけとなる話が

日替わりで展開されている。

さらに、新聞連載での人生相談も話題を呼び、

全国から寄せられる相談メールに川村さんは返信する。

ネットとメールで真摯に語りかける、現代の僧侶の姿に迫った。

かわむらみょうけい 川村妙慶さん

1964年福岡県北九州市生まれ。京都市在住。真宗大谷派僧侶(京都正念寺坊主)、フリーアナウンサー、大学客員教授。カルチャーセンターなどで講演活動を行うほか、全国で法話会を実施している。産経新聞、京都新聞、日経ヘルスブルミエで連載。TBS「スパモク!! お坊さんがズバリ! 解決! 紳助の駆け込み寺」出演中。著書に『ほっとする親鸞聖人の言葉』(二玄社)、『こんな時 親鸞さんなら、こう答える』(教育評論社)、『親鸞「イヤな自分」を克服する本』(三笠書房)、『あなたは、あなたでいい』(PHP研究所)などがある。

■ ホームページ「川村妙慶@ロコスタイル」/
ブログ「日替わり法話」
<http://myoukei.com/>

悩みに「答え」を示すのではなく 自分で考える手助けをする

1日100通もの メールに真摯に向き合う

京都市にある真宗大谷派の寺「正念寺」の坊守（真宗では住職の妻のこと）であり、自身も僧侶である川村妙慶さん。毎日更新する人気ブログ「日替わり法話」では、日常の出来事を僧侶の視点で紹介し、読む人に何気ない気付きを与えてくれる。ブログとホームページで公開されているメールアドレスには、いつしか悩み相談のメールが届くようになり、現在は全国から多い日に100通の相談メールが届く。川村さんはそのメール1通1通に答え続けている。

「相談者の年代も幅広く、相談内容も様々です。よく寄せられるのは結婚に関する悩み。結婚を迷っている、結婚できない、出会いがないなど。結婚後は子供や同居している親に関する悩み。子供がで

きないことの悩み。浮気や離婚問題。病気に苦しんでいること。そして過去に懺悔（ざんげ）したいという声も寄せられます。懺悔したいという方のほとんどは、若いころの出来事を今になって強く後悔するようになり、その気持ちから解放されたいという年配の方です。それから男性は会社の人間関係についての相談と、子供とのコミュニケーションに関する悩みが圧倒的に多いですね」

答えを出すのではなく 自分で考えてもらう

川村さんは一人ひとりのメールに返信していく。中には自殺をほめかすような切羽詰まった内容のものもある。そのような緊急度の高いメールを優先しているが、なにしろメールの数が膨大であり、川村さんはその1通1通とじっくり向き合うため、なかなかすぐに返信できない。現在は、大体返信まで1カ月間待つという状況だという。

顔の見えない人々の多様な悩みに答える。その難しさは並大抵のものではない。「私は決めていることが一つあります。それは悩みに対して『どうしましょう』という答えを出すのではなく、その方が自分で考えられるようにサポートすることに徹しよう。まず、悩みを受け止め、苦しみに対して私自身も向き合うようにしています。『そうですか、それは大変ですね。うつかったですね』と。もし、それを『そんなのは大した問題ではない。もっと大変な人は世の中にいっぱいいる』なんて言ったら余計に苦しめてしまうだけです」

しみに対して私自身も向き合うようにしています。『そうですか、それは大変ですね。うつかったですね』と。もし、それを『そんなのは大した問題ではない。もっと大変な人は世の中にいっぱいいる』なんて言ったら余計に苦しめてしまうだけです」

悩みを受け止めた上で、川村さんは相談者に問いかける。「悩みに向き合ったときに私の中に『問いが生まれてきます。』それは『どういふことですか。』『こんなこ



メールは小さなノートパソコンやスマートフォンを使い、喫茶店などで打つことが多い。実は「全くの機械オンチ」だとか。

相手の顔が見えない メール相談の難しさ

メールでの受け答えは、相手が見えないため気軽に相談できる半面、メールでしか相談できないほど追い詰められた人もいる。

「たまに『死にたい』というメールをいただくことがあります。

ともあります。『苦しいのはこういふときではないですか？』など、様々な問いを投げかけます。そうすると『自分が何に悩んでいるのか分かった』とか『少し楽になった』といったお返事をいただくことも少なくありません。それは、ご自身で再度じっくりと考えていただけた結果なのかな、と信じています」

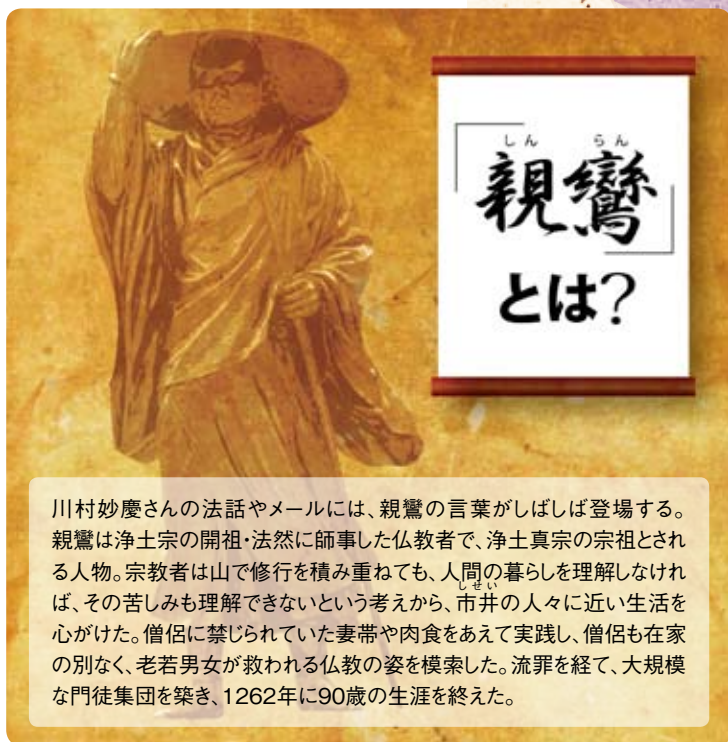
そのようなメールにはすぐに返信したいと思いますが、私も安易なお返事をするわけにはいきません。ですから、まず『メール拝見いたしました。少し待ってくださいね』とお返事するようになっています。私はそのメールを読んだことが分かったというだけで得られる安心感もあると思います。後日、改めてメー

ルをやりとりして落ち着いていただけることが多いですね」

寄せられる相談内容に、最近の傾向はあるのだろうか。「ここ数年は『消えてしまいたい』という内容のメールが増えたように感じます。自分が何の役にも立っていない。生きる理由がない。でも、あえて死ぬ理由もない。

だから自分をなかつたことにしたいといった内容です。悩みを解決する、もしくは悩みと上手に付き合っていくためには、現実としっかり向き合うことが前提となります。他人と比べてあの人はこうなのにとか『うつたつたらよかったのにと仮定の話をしても、決して前進することはないのです。自分が直面している問題や事実、しっかりと向き合っていない方が増えているのかもしれないね」

「悩んでいる自分の姿を見せられる人と見せられない人の2つです。自分をさらけ出すことができれば、既に解決に向けて一歩前進しています。悩んでいる自分を見られることが恥ずかしいから、悩みの内容だけを伝えて早く解決したいという気持ちから、メール相談を選ぶという方は多いと思います。消えてしまいたいという気持ちは、直面している現実と向き合えず、自分をさらけ出すことができない方が、はまり込んでしまう感情なのかもしれない」



川村妙慶さんの法話やメールには、親鸞の言葉がしばしば登場する。親鸞は浄土宗の開祖・法然に師事した仏教者で、浄土真宗の宗祖とされる人物。宗教者は山で修行を積み重ねても、人間の暮らしを理解しなければ、その苦しみも理解できないという考えから、市井の人々に近い生活を心がけた。僧侶に禁じられていた妻帯や肉食をあえて実践し、僧侶も在家の別なく、老若男女が救われる仏教の姿を模索した。流罪を経て、大規模な門徒集団を築き、1262年に90歳の生涯を終えた。



透明感のある声と小気味よい語り口はさすがアナウンサー。話が耳に心地よく入ってくる。



職場で思い出したいコミュニケーション術

部下編

上司編

CASE 01 自分の言葉に「。」を付ける

相手が感情的になっているときは、「でも」、「それは、」と反論するのではなく、まず「分かりました。」「失礼しました。」など「。」を付ける返答を。そして「1つだけ聞いてもらえますか?」と続けると波風が立たない。

CASE 02 自己防衛から入らない

誰でも叱られたくない。しかし、コミュニケーションは自己防衛から入ると、相手の怒りは膨らんでいくだけ。言い訳したり、何も自分のことを分かっていない、という感情が先立ちがちだが、まずは相手の言葉を聞くこと。

CASE 01 アフターフォローを忘れない

叱りっぱなしだと、部下は叱られた内容はともかく、自分は嫌われていると勘違いしがち。「君のことが憎いわけじゃないよ」とか「俺も昔は失敗しちやってさ」などとアフターフォローをすると、部下は安心できる。

CASE 02 決めつけない

「おまえはこういう人間だ」、「こう思ったんだろ」などと決めつけない。もし、そう考えたとしても、一度その考えをのみ込んで、言葉や言い回しに配慮して、決めつけないように考えを伝えよう。

CASE 03 人前では叱らない

いくら叱られて当然のこととはいえ、誰でも人前で叱られるのはつらく恥ずかしいこと。恥ずかしさが先立ってしまうと、改善しようという気持ちよりも絶望感が大きくなってしまい、場合によっては逆恨みされてしまうことも。

苦しみと喜びが常に訪れる それが人生である

自分が抱える問題に向かい合う決意

「紙の山の正体は兄が書いた小説でした。タイトルは『その後の兎と亀』。兎と亀のおとぎ話のその後を描いたストーリーでした。俺は寺を継ぐことの重圧に負けてしまった。京都へ行ったおまえがうらやましかった。つらかったんや。兎と亀に自分を投影してひたすら話を書き続けていたんやけど、引きこもりと見られても仕方ないわなと泣くんです。それが私と兄がお互いに向き合えた瞬間でした」

川村さんは「その後の兎と亀」を人形劇にして境内で発表しようと考えた。人形劇なら顔を見せる必要もないから、家から出てきて手伝ってほしい。

「兄は出てきてくれました。なんで俺が亀役なんやと不満を言っていたんですけど(笑)。その後、兄は仏教の学校に入学し、現在は住職として活動しています。ご門徒さん

憧れのアナウンサー業 そして挫折

先生は、人間が背負っている暗さ、業を下ろすために、いったん仏教を離れてみることを提案した。「今は自分のやりたいことをした方がよい」と先生は言っています。『娑婆世界で得た人生経験は修行にもなるから気にせずやってみよう』と。そこで、ラジオ子だった私は、憧れのアナウンサーを目指すことにしたのです」

川村さんは数年間の下積みを経て、芸能事務所に所属し、テレビやラジオでアナウンサーとして活躍し始めた。しかし、年齢を重ねるごとに焦りを感じるようになった。「ほかのタレントが売れていく中で、いつも暇な私はやり場のない怒りや嫉妬に満ちていました。そんなとき、上司からほかのタレントのマネージャーにならないかと提案されました。ショックでした。でも、そこで反省することもできました。私は嫉妬で物事を正しく見られなくなっていたなあ。

それで実家へ帰る決意が固まりました。33歳のときです」

このときに上司から言われた言葉が、後に川村さんの人生に大きく影響を与えることになる。「私の仕事がいらない」という事情もさることながら、上司が言うには私はほかのタレントに人気がある。親身になって話を聞いてくれてみんな気分が明るくなるって言うから、マネージャー業が向いているんじゃないかと。僧侶になつてから自然と人から相談されることが多くなり、話を聞くと言んでもらえることが分かりました。そこで、あるとき上司は私を見抜いていたんだなと気付きました」

実家の「西蓮寺」はお寺がなくなるといいうわさが飛び交い、約200の門徒(檀家)がゼロになっていた。実は川村さんにはお兄さんがいるのだが、10代でお寺を継ぐことへのプレッシャーに耐えられなかった彼は、自室に引きこもってしまっていた。川村さんはメール相談を続けるうちに、自分も兄と向き合わなければいけないと考えた。「お兄ちゃんとかゆつくり話したいんよと語りかけていたら、ついにドアを開けてくれたんです。部屋は意外ときれいで、片隅に紙が山のように積まれていました」



鴨川を散歩。仕事を終えて、家に帰る前に散歩や喫茶店で少しひと息。川村さんにとって大切な時間だ。

します。遭は都合の悪い出会い。偶はうれしい出会い。一生にはこの2つの出会いが訪れます。だから、苦しみと喜びは比較してはいけません。今、たまたま元気な私は元気のない人に手を差し伸べたいと思っています。こうして人と人はつながって生きていくのではないかと。思うのです」

国難ともいえる災厄に見舞われ、混沌を極めるこの時代に、しっかりと噛みしめたい言葉だ。



僧侶としての業務や相談メールを打つ以外の時間は法衣を脱ぐ。誰も僧侶だとは思わない。

三井住友海上 千葉ニュータウンセンター



「トラブルゼロ運動」の実践を通じて 設備の運用・保守にかかわる品質を大幅改善

三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保などの保険会社を有するMS&ADインシュアランスグループ。そのビジネスを支えるデータセンターおよびオフィスビルから成る三井住友海上千葉ニュータウンセンターでは、設備トラブルの撲滅を目指した「トラブルゼロ運動」を、各設備関連パートナーの協力を得て実施しました。この運動を契機に、設備の運用・保守・管理にかかわる品質を大きく向上させることができました。

施設内の各設備において発生する トラブルの撲滅がテーマに

東京都心や成田空港に近接するという立地を活かし、「住む」「働く」「学ぶ」「憩う」などの各種機能を複合した総合的な都市づくりが進められている千葉ニュータウン。船橋市・印西市・白井市の3市にまたがるその広大な地域の中でも、千葉ニュータウン中央駅周辺の中央エリアには大規模ショッピングセンターやオフィスビル、研究所などが集まっています。その中で、ひときわ目を引く地上20階の高層ビルが三井住友海上千葉ニュータウンセンター（以下、CNTセンター）です。オフィスが入る本館とコンピュータセンターである中央館で構成され延床面積は8万1001㎡。その管理運営には、2010年4月に三井住友海上グループホールディングス、あいおい損害保険、ニッセイ同和損害保険の経営統合により誕生したMS&ADインシュアランスグループの一員である、MS&ADビジネスサポート株式会社（以下、ビジネスサポート）が当たっています。



中央監視室に設置されているsavic-net 50。建物内の空調設備にかかわる運転・稼働状況の監視および制御を行う。

を経た2008年ごろから、施設内の各設備において様々なトラブルが発生し、頭を悩ませるようになっていました。「特に中央館のコンピュータセンターには、MS&ADインシュアランスグループが展開する国内外の保険業務を賄う情報システムが集約されており、設備トラブルによってシステムの稼働に支障を来すことになればグループ全体のビジネスに甚大な影響が及んでしまいます」（竹村氏）

「コミュニケーションの改善と サービス品質の強化に注力

このような事態を受けて、ビジネスサポートでは2009年7月に、同年末までの100日間と期間を決めて、設備トラブルの撲滅を目指した「トラブルゼロ運動」を実施することになりました。建物管理シス

を経過した空調中央監視システムや各制御装置の老朽化に伴う更新が重要なテーマとして浮上してきています。ほかの設備に対する投資との兼ね合いの中で、2年以内を目標にその実施時期の検討が進められているところで、ビジネスサポートではそれに向けて更新までの保守部品を既に事前購入しており、その間の安定運用の確保を図っています。

「その一方で、省エネルギーに向けた取組みも、我々にとっては重要なテーマです。これまで様々な施策を展開し、省エネルギーに対しても多大な成果を上げてきましたが、中でも重要な力を握る空調自動制御設備を担当する山武の貢献はとりわけ大きかったと評価しています。今後、施設の安定運用、そして省エネルギーの両面で、我々の取組みを強力に支援してくれる山武の活躍を大いに期待しています」（竹村氏）

継続的な活動を通じて 早期に空調設備の「トラブルゼロ」達成

CNTセンターのトラブルゼロ運動は、実際には2009年末までにトラブルを皆無にするには至らず、さらに100日間の延長措置を取ることにしました。その後も「トラブルゼロ」は当たり前の取組みとして各社に定着しています。これにより、最終的には各設備の運用・保守管理にかかわる品質の大幅な向上がもたらされました。そうした中で、山武の担当する空調自動制御設備に関しては各種施策の成果もあつて、文字どおり「トラブルゼロ」を達成しています。

現在、同センターの空調自動制御設備においては、既に10年以上

テム savic-net™ 50や各種制御装置の提供、保守サービスを通じてCNTセンターの空調中央監視システム、空調自動制御設備を支えてきた山武をはじめ、電気や空調工・ベータなどの設備を担当する各企業や設計事務所、施工業者

など、すべての設備関連のパートナーに協力を要請しました。

「トラブルゼロ運動の開始時には、パートナー各社の立ち会いの下でキックオフミーティングを開催。そこで目標達成に向けた各社の施策を発表してもらう一方、当社側でも、同センターにおける年間の工事計画を明らかにするなど、当社とパートナーとしてパートナー相互の情報共有に基づく協調関係を新たに構築して、取組みを推進していくことにしました」（今田氏）

山武でもこうした運動の展開に歩調を合わせる形で、空調自動制御設備にかかわるトラブルの未然防止やトラブル発生時の対応の迅速化に向けた施策を強化。例えば、2009年6月に発生した空調中央監視システムのトラブルを契機に、毎月実施していた定例会議では、現場のサービス員に加え、マネジメントレベルの担当者が必ず同席し、山武とビジネスサポートとの



- 1 機械室に設置されたシステム制御盤内のSCU (Sub Central Unit)。万が一、中央監視装置がダウンした際にはSCUで監視を継続することができる。また、SCU同士も二重化されており、データセンターならではのシステム構築が施されている。
- 2 各種施策の立案、実施結果の報告を定例会議で行い、MS&ADビジネスサポートと山武の間で綿密な情報共有、コミュニケーションが図られている。

MS&AD ビジネスサポート株式会社



所在地：千葉県印西市大塚2-2-1
本社所在地：東京都中央区新川2-27-2
設立：1950年9月19日
事業内容：不動産もしくはそれに付随する設備の保守・点検その他の管理など



第二事業本部
千葉ニュータウン
センター事業所
事業所長
竹村 雅明氏



第二事業本部
千葉ニュータウン
センター事業所
次長
今田 和久氏



第二事業本部
千葉ニュータウン
センター事業所
課長
後藤 淳一氏

東神開発株式会社



緑化されているショッピングセンターの屋上。

標準化と見える化を推進し
省エネルギーを確実にできる体制を構築

ショッピングセンターなど、商業施設の開発・運営を手がける東神開発では、2010年4月の「改正省エネ法」の施行に当たり、会社全体のエネルギー管理に通じた人材の確保が難しいなど、同法への対応にかかわるいくつかの課題を抱えていました。そこで、外部のパートナーに支援を依頼することを決定。省エネルギーを熟知したパートナーを迎え、標準化とエネルギーの見える化を推進することで円滑な法制度への対応を実現しました。

多方面からの省エネ活動で
環境保全への貢献を目指す

高島屋グループの一員として、ショッピングセンター（SC）経営を基幹とするビジネスを展開する東神開発株式会社。日本初の本格的郊外型ショッピングセンターとして1969年に誕生した玉川高島屋S・Cをはじめ、柏高島屋ステーションモール、シンガポール高島屋S・Cなど、数々の商業施設の開発・運営を手がける中で、地域、出店テナントとの共存共栄を図りながら、人々の豊かな暮らしに貢献しています。

一方で、環境保全に向けた活動を積極的に推進していることでも知られています。例えば、2000年に玉川高島屋S・C、柏高島屋ステーションモールにおいて、SCデベロッパーでは初めてISO 14001の認証を取得。2007年にも、流山おおたかの森S・Cでも同認証を取得しました。

「業界に先駆けてSC施設に屋上緑化を導入したのも当社です。今日では、館内から出る」ミの分別・再利用に向けた加工を行うリサイクルファクトリーの設置、あるいは飲食店からの食用廃油を回収業者に委託してバイオディーゼル燃料やせつ

認、取りまとめるという運用を実現しました。

「現場で所定フォーマットに必要な情報を入力してもらい、本部側で集計するという一般的な方法に比べ、スムーズで高精度な集計作業が可能です。例えば、熱量換算、原油換算といった計算やグラフを使った可視化が容易に行えるなど、エネルギー管理業務にかかわる人的負担も大幅に低減できました」

（新田氏）
こうした取組みをベースに東神開発では、現場の省エネ活動を着実に推進しています。その結果、当面の目標として掲げていた、改正省エネ法が定める原単位で年平均1%以上のエネルギー消費量の削減という目標もクリアされる見通しです。

「省エネルギーの目的は法対応だけでなく、コスト削減などビジネス上の観点からもきわめて重要な取組みです。これに関し、既に山

けんなどへの再資源化に努めるといった取組みをはじめ、様々な側面から環境活動に注力しています」

（久保田氏）

見える化から改善に至るプロセスを
ワンストップでトータルに支援

2010年4月には「改正省エネ法」が施行され、その適用対象が従来の事業所単位から、それら事業所を統括する事業者単位へと拡大されました。これまで東神開発では、玉川高島屋S・Cなど各地域の基幹SCごとの事業部制を敷いており、旧省エネ法の適用を受けていた施設については、当該施設を運営する事業部単位で同法の対応業務に当たっていました。これに対し、改正省エネ法の施行を受け、社内を進められていた事業部再編によって、新たに各事業部を統括する位置付けとなった営業本部が、改正省エネ法への対応を取りまとめて実施していくことになりました。

「社内各事業所におけるエネルギーの消費実態や関連設備の状況を詳細に把握し、改正省エネ法への対応はもちろん、省エネルギーに向けた投資計画の策定を主導していく立場を営業本部が担うことになりました。そこで、一連の取組

みを支援してくれるパートナーの存在が不可欠だと考えました」

（新田氏）

2009年3月ごろから、設備関連のベンダーや省エネルギーを専業とするコンサルティングファームなどに声をかけ、パートナーの選定を開始。綿密な比較検討の結果、同社がパートナーとして迎えたのが山武でした。

「改正省エネ法を見据えた施策に求められるエネルギー使用状況の見える化から、ムダの抽出、そして改善に至るプロセスをトータルかつワンストップで支援してくれると

いう点が山武採用のポイントとなりました。その提案は、具体的にどのように法対応を進めていくべきかに頭を悩ませていた我々にとって非常に心強いものだったのです」

（新田氏）

法制に関する豊かな知見で
対応業務の円滑化に貢献

山武の選定が正式に決定された2009年7月から、東神開発ではまず改正省エネ法の対象とすべき建物、物件の洗い出しに着手しました。同社が運営する商業施設の中には、土地建物を同社自身が所有しているケースもあれば、建物全体をオーナーから借り受けているケース、さらにはそれらビル、あるいはフロアを分割してテナントに

貸し出しているケースなど、様々な様態があり、権利関係も非常に複雑だったのです。

「対象物件洗い出しの作業には、2～3カ月を要しました。その間、山武が持ち前の改正省エネ法に関する豊かな知見と真摯なサポートによって、我々をしっかりと支えてくれました」（新田氏）

併せて東神開発では、山武の支援の下、これまで事業部ごとに実施していたエネルギー使用状況を把握する方法についての標準化にも取り組みました。そこで策定された標準に基づき、改正省エネ法への対応も含めてエネルギー情報を見える化するための仕組みとして、山武の提案するASPサービス^{※2}「CO₂マネジメントシステム」の活用を決定。各事業所が

必要な情報をWebブラウザ上で入力して、それを営業本部側が同じくブラウザ上で確



1



2

- 1 CO₂マネジメントシステムでは、現場担当者が汎用PCを使って入力するエネルギー情報を本部側で手軽に収集・管理できるほか、各現場での閲覧も可能。
- 2 経済産業局に提出する定期報告書と中長期計画書。

東神開発株式会社



所在地：東京都世田谷区玉川3-17-1
設立：1963年12月28日
事業内容：ショッピングセンターの開発、運営管理、および不動産の賃貸借、売買とその仲介など



営業本部
営業統括グループ
営業統括担当課長
新田 直樹氏



経営管理本部
総務グループ
総務担当係長
久保田 成樹氏

用語解説

*1:改正省エネ法

従来の「エネルギーの使用の合理化に関する法律」（通称：省エネ法）を改正し、2010年4月から施行された法律。エネルギー使用量の把握と管理の対象が工場や建物単位から、事業所を統括する事業者単位に拡大。エネルギー使用量が1,500kl／年以上の企業は、本社や事業所、支店、営業所、店舗などを含む、企業全体でのエネルギー使用量の把握と管理が必要となっている。

*2:ASP (Application Service Provider) サービス

特定および不特定ユーザーが必要とするシステム機能を、ネットワークを通じて提供するサービス、あるいは、そうしたサービスを提供するビジネスモデル。

総合的なバルブソリューションを提供 グローバルなお客さまのニーズを満たす

日常生活から産業活動に至るあらゆる場面で、我々の社会を支える「バルブ」。国内で初めてコントロールバルブを製造したメーカーとしても知られる山武では、その長きにわたるバルブ事業の中で培ってきた豊富なノウハウと、持ち前の計測・制御に関する高度な技術力をベースに、国内外のお客さまのバルブにかかわるあらゆる課題を解決するトータルなソリューションの提供を目指しています。



株式会社 山武 取締役 執行役員常務 河合 真

国内で初めてコントロールバルブを製造したメーカーとしての実績

流体の通路の開閉を行う仕組みにより、気体や液体などの流れを止めたり制御したりする「バルブ」。家庭で日々利用するキッチンや風呂場にある水道の蛇口やガスの元栓などはもちろん、オフィスビルの空調設備や工場内の様々な製造設備においてもその存在は不可欠です。まさにバルブは、我々の日常生活から産業活動に至るあらゆる場面を支える重

要な機器だといえます。

山武では、1906年の創業以来、100年以上にわたって、我が国の産業を支える中で、バルブの開発・製造にも深くかかわってきました。バルブの歴史の中でも、流体の遮断機能に加えて、流量を自在に制御する機能を備えたコントロールバルブの登場は最大の技術革新とされますが、山武では1936年、製油所に初の国産コントロールバルブとなるトップ&ボトムガイド型複座調節弁を納入したという実績を持っています。

す。そうした意味で山武は、日本におけるコントロールバルブ技術の世界を切り拓いたパイオニアであるといえるわけです。

現在、山武ではビルディングオートメーション（BA）事業、アドバンストオートメーション（AA）事業の両分野において、これまで長きにわたって蓄積してきたバルブに関する豊富な技術やノウハウを活かした製品・サービスの提供

に努めています。例えば、空調用のインテリジェントコンビシリーズ

流量計測制御機能付電動二方弁 ACTIVAL™（アクティバル）、あるいはフィールドにおける調節弁の稼働状況にかかわる情報を収集し、メンテナンスに必要な意思決定の支援やメンテナンス業務の効率化を実現する調節弁メンテナンス



性能試験を行う流量計測制御機能付電動二方弁 ACTIVAL。

サポートシステムvastat™（バルスタツ）、さらにはバルブやセンサ類などをはじめとする各種フィールド機器の稼働状況を収集・可視化・分析し、生産現場の安定的かつ最適な操業を支援する「HART・フィールドバスソリューション」など、先進的な製品・システムを提供。国内外のお客さまにおけるバルブの活用を支える広範なニーズに応えています。

このように、バルブ製品を単体で提供するだけでなく、それに関連する計測・制御の仕組みや各種システムを総合的なソリューションとして用意し、バルブの選定・設置から運転・運用、保守に至るライフサイクルをトータルにカバーしながら、ビルなどの建物から工場・プラントまで高度な付加価値を提

供できる点は、まさに山武ならではの強みだといえます。

**事業体を超えてノウハウを結集
シナジーを活かした開発を目指す**

一方、こうした製品・サービスの拡充に加え、山武では体制面からもバルブ関連ビジネスの強化を図っています。その一環として2011年4月、新たにバルブ商品開発部を設置。これまで、BA事業を行うビルシステムカンパニー（BSC）とAA事業を担うアドバンストオートメーションカンパニー（AAC）が個別に行ってきたバルブ製品関連の開発業務を一つの組織に統合。BSC、AACといった事業体を超えたノウハウを集結し、両事業のシナジーを活かした商品開発を目指していくこととなります。

開発部門では長年にわたるバルブアクチュエータ設計の基礎技術に加え、近年、力を入れてきた流れの可視化技術（CFD*など）、信頼性技術などを活用し、差別化機能（インテリジェント）を搭載した商品開発に取り組みます。

またバルブの生産では、工業向け製品を中心とする湘南工場、空調用と工業用の両生産ラインを持つ中国の大連工場という2つの拠点を中心に市場への製品供給を行う

ていますが、今後は生産の最適化やコストダウンという観点からグローバルに生産拠点の最適化を図っていきます。

バルブ事業におけるグローバル展開のさらなる推進という視点では、今後、市場の急速な成長が見込まれるインド・西アジアや中東地域、ブラジルを中心とした南米地域などにおいて、現地のパートナー企業との協業展開などにも着手していきます。

そのほか、海外のお客さまの長期安定運転を支援するための取組みとして、バルブメンテナンスセンターを中国、タイ、台湾、インドネシア、シンガポール、マレーシアに順次開設し、お客さまが抱えるバルブ保守のニーズに応えてきました。今後はグローバルなお客さまに対してよりスピーディなサービスを提供すべく、そうしたメンテナンス拠点をより広範な地域へと拡大していくことも重要な課題の一つであると捉えています。

そうしたグローバルな取組みを展開していくに当たって不可欠なテーマとなるのが、バルブにかかわる高度なスキルを有する人材を、いかに育成していくかという課題です。山武では、福岡県の香春技術センターを中心に、海外



拠点で活躍するバルブ技術者を養成するためのトレーニングを随時開催しており、既に数多くの海外研修生を受け入れてきました。また、バルブの生産技術についても、湘南工場を中心に熟練工による研修コースを開催するなど、バルブ製造の世界を支える確かな職人的技術と、ものづくりに関するマインドを確実に次代に伝えるための取組みを積極的に推進しています。

今後も、コントロールバルブのパイオニアとして長年にわたって蓄積してきた実績とノウハウ、そして計測・制御についての持ち前の技術力をベースに、国内、そしてグローバルなオフィスや工場・プラントの現場におけるお客さまの価値最大化に役立てていきたいと考えています。



湘南工場出荷を待つバルブ。客先仕様に合わせて作るため、様々な大きさ、形態のバルブが並ぶ。

*CFD(Computational Fluid Dynamics)：数値流体力学
目には見えない流体（空気や水など）の運動に関する方程式をコンピュータで解くことにより、流れを観察する数値解析・シミュレーション手法。



Topics

製品情報

ニュース

セミナー情報

展示会情報

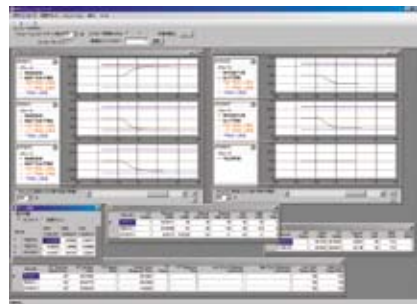
プロセス装置の安定化、最適化を実現する制御高度化ソリューション商品 SORTiAシリーズを販売開始

株式会社 山武は、以前から高度制御に取り組んできましたが、これまで現場で培ってきたプロセス制御の知見、制御技術に関する研究を結集し、独自技術にて開発した制御高度化ソリューション商品 SORTiA（ソーティア）シリーズの販売を開始しました。

高度制御は、プロセス装置の安定化、最適化を実現し、製品品質安定化、回収率や原単位の改善、省エネルギーなどお客さまの企業価値向上に貢献します。主に連続プロセスにおいてその有効性が認められていますが、パッケージライセンス購入費が高く、費用対効果の観点から、その適用は比較的大規模プロセスに限られていました。SORTiAはライセンス購入費を廃し従量制の年間使用料とすることで初期導入費を抑え、中小規模プロセスでの導入もご検討いただけるよう価格設定しています。高度制御技術の汎用化により、さらに一層の運転効率化に貢献します。

【特長】

- 既設DCS（分散型デジタル制御システム）に依存しないオープンシステム構成により、山武製以外のDCSをお使いのお客さまでもご利用いただけます。
- 1装置当たり数百万円したライセンス購入費を廃し、操作変数や接続ユーザー数による従量制の年間使用料とすることで、装置規模に応じて数十万円からとリーズナブルな価格を設定、適用範囲の幅が広がります。
- 画面・メッセージは、日本語、英語のいずれから選択可能です。



●株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーショングループ TEL：0466-20-2160

気象データによる電力需給最適化支援パッケージ および電力デマンド制御パッケージを販売開始

株式会社 山武は、今夏の電力不足問題に対応する産業部門などに対し、気象データによる電力需給最適化支援パッケージ「ENEOPTpers（エネオプトパース）」および電力デマンド制御パッケージ「ENEOPTdemand（エネオプトデマンド）」を販売開始しました。

「ENEOPTpers」は、48時間先の気象データ（温度・湿度）と過去の使用電力量から、当日と翌日の電力需要を予測することができるシステムです。電力需要が目標値を超える予測が出た場合は、シフト勤務の実施や、生産計画の優先順位を決定して少ない電力で生産を行うなど、適切な判断を行い、最も効果的な対処方法を決定することができます。

ENEOPTpersを複数の事業所に導入することで、事業所間で相互に予測データを把握し、電力削減の施策を複数事業所間で調整することも可能となります。さらにこれらの予測情報は、本社をはじめとする当該事業所以外の拠点においてもWebにて閲覧でき、企業グループ全体での削減活動に取り組む際の意思決定の根拠として効果を発揮します。電力需給を「見える化」し、事前に電力需要のピーク時の対処方法を全社員で共有することで、社員一人ひとりを巻き込んだ電力削減活動をも可能とします。

また、電力デマンド制御パッケージ「ENEOPTdemand」は、使用電力量が契約電力量を超えないよう負荷制御を行うため、予測電力量が契約電力量を超過することが判明した時点で警報を発し、自家発電機の起動や負荷遮断などを自動で実施するシステムです。

山武は、気象データによる電力需給を予測するENEOPTpersに、電力デマンド制御を実行するENEOPTdemandを組み合わせたソリューションで、一歩先をいく使用電力量削減を支援していきます。

●株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー マーケティング部 コミュニケーショングループ TEL：0466-20-2160

製品情報

ニュース

来春、社名を「アズビル」に変更 ～国内グループ各社も「アズビル」を冠する社名に統一～

株式会社 山武は、ブランドの統合並びに強化のため、「アズビル(Azbil)」に社名を変更することをお知らせします。

なお、当社の社名変更に伴って、国内グループ各社も2012年4月1日に社名変更を実施する予定です。

新社名:アズビル株式会社 (英名:Azbil Corporation)
変更日:2012年4月1日

【2012年4月1日付で変更を行う会社と新社名】

現社名	新社名	新社名 (英名)
株式会社 山武	アズビル株式会社	Azbil Corporation
株式会社 山武商会	アズビル商事株式会社	Azbil Trading Co., Ltd.
山武コントロールプロダクト株式会社	アズビル プロダクツ株式会社	Azbil Products Co., Ltd.
山武フレンドリー株式会社	アズビル フレンドリー株式会社	Azbil Friendly Co., Ltd.
セキュリティフライデー株式会社	アズビル セキュリティフライデー株式会社	Azbil SecurityFriday Co., Ltd.
株式会社 金門製作所	アズビル金門株式会社	Azbil Kimmon Co., Ltd.
株式会社 青森製作所	アズビル金門青森株式会社	Azbil Kimmon Aomori Co., Ltd.
和歌山精器株式会社	アズビル金門和歌山株式会社	Azbil Kimmon Wakayama Co., Ltd.
白河精機株式会社	アズビル金門白河株式会社	Azbil Kimmon Shirakawa Co., Ltd.
株式会社 金門白沢	アズビル金門白沢株式会社	Azbil Kimmon Shirasawa Co., Ltd.
株式会社 金門会津	アズビル金門会津株式会社	Azbil Kimmon Aizu Co., Ltd.
株式会社 金門原町	アズビル金門原町株式会社	Azbil Kimmon Haramachi Co., Ltd.
株式会社 金門唐津	アズビル金門唐津株式会社	Azbil Kimmon Karatsu Co., Ltd.
株式会社 山武瑞穂	アズビル京都株式会社	Azbil Kyoto Co., Ltd.
ロイヤルコントロールズ株式会社	アズビル ロイヤルコントロールズ株式会社	Azbil RoyalControls Co., Ltd.
株式会社 太信	アズビル太信株式会社	Azbil Taishin Co., Ltd.

※表中に記載のないグループ会社については、社名および変更実施時期を検討中です。

●株式会社 山武 経営企画部広報グループ TEL：03-6810-1006

ニュース

山武の特例子会社である山武フレンドリーが湘南工場に分室を開設

株式会社 山武の知的障がい者雇用の特例子会社である山武フレンドリー株式会社は、2011年6月1日付で山武 湘南工場に分室を開設しました。湘南工場分室の社員は2人で、調節弁の組立てに必要な部品準備作業やボジションの組立て・運搬作業などの業務を行っています。



●株式会社 山武 経営企画部広報グループ
TEL：03-6810-1006

今月の表紙



インド／デリー

●MERRY メッセージ 「学校と友達が私を笑顔にしてくれます」

●撮影メモ

インドでは、デリー、ジャイプール、ムンバイで取材。デリーで出会ったストリートチルドレンのビュアな笑顔。19世紀にピンク色で統一された街、ジャイプール。ソウとラクダと原色のサリーを着た女性たちの風景は、コンテンポラリーアートのように美しかった。しかし、一番印象的であったのは、ムンバイのジェフビーチ。広大なビーチに、足の踏み場もないほどの人、人、人。海外で手作りのカバンを売る姉妹は、小さな肩と手にカバンを持ったままずっとついてきて、友達にMERRYを説明してくれ、このビーチにMERRYな笑顔の宇宙をつくってくれた。とても感動的でMERRYな瞬間であった。

水谷事務所代表／MERRY PROJECT 主宰 水谷 孝次さん

Present

ほっとする親鸞聖人のことば

没後750年の現代まで受け継がれる親鸞聖人の言葉。そんな親鸞聖人の言葉70語を、川村妙慶さんと書家の高橋白鷗さんが、講和と書で分かりやすく紹介しています。

- 二玄社
- 川村妙慶／文、高橋白鷗／書
- 価格1,050円(税込)



本書を5名の方にプレゼントいたします。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号をご記入の上、下記宛先に7月末日までにご応募ください。厳正な抽選の上、当選者ご本人に直接当選の連絡をいたします。なお、社員並びに関係者は応募できません。

azbilグループPR誌「azbil」をご愛読いただき、ありがとうございます。

■本誌に関するお問い合わせやご意見、ご希望、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、皆さまからのお便りをお待ちしております。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号などをご記入の上、下記まで郵送、FAX、電子メールなどでお寄せください。

■ご住所などの変更に関するご連絡は、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号も併せてお知らせください。

■お問い合わせ・プレゼント応募宛先
〒100-6419
東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
株式会社 山武
azbil 編集事務局
TEL：03-6810-1006
FAX：03-5220-7274
E-mail：azbil-prbook@azbil.com

- 発行日：2011年 7月 1日
- 発行：PR誌 azbil 編集事務局
- 発行責任者：岡 訓仁
- 制作：日経BPコンサルティング

編集後記

3.11の地震以降、ちまたでは仏教と婚活ブームだそうです。書店には、仏教関連の本が平積みされていて驚きます。バブル以降、個人主義が尊重されてきましたが、ここに来て人と人とのつながりが恋しくなり、いざというときに助け合える人がほしくなったのかもしれない。実はみんなどこかで孤独を感じていて、川村妙慶さんのような人に話を聞いてもらいたいと思うのでしょう。しかし、ネットやメール経由ではなく、もっと身近の人と関係を築き、話ができるようになるといいですね。(akubi)



夏油川の畔にある「夏油温泉 元湯夏油」の「疔気の湯」。基本は混浴だが、1日2回女性専用時間もある。

岩手県 夏油温泉

溪流沿いに源泉を湯船とする
露天風呂が点在する山深き秘湯

北上市西部のブナの原生林の山深く、曲がりくねった県道を上り詰めたところに夏油温泉がある。旅館はわずか3軒のみの秘湯だが、道沿いに食堂や雑貨店、マッサージ店などが並んでいるため、小さいながらもぎやかな温泉街となっている。長期滞在の湯治客が多い、この温泉ならではの光景だ。各旅館に内湯があるほか、夏油川沿いには「元湯夏油」が管理する5つの露天風呂がある。これらの露天風呂は入浴券を購入すれば誰でも利用可能だ。温泉はすべて源泉かけ流し。露天風呂は湯船そのものが源泉であり、湯船の底や脇からお湯が湧き続けている。そのため湯船によってはかなり熱い。しかし、お湯の肌ざわりは柔らかく、浴後の清涼感も心地よい。露天風呂は基本的に混浴。常連の湯治客も多いためか、男女が節度を持って和気あいあいと湯けむりを楽しめるのも、夏油温泉の大きな魅力だ。

泉質・効能

ナトリウム・カルシウム塩化物泉
やや青白く濁るお湯は、ほのかに硫黄臭が感じられる。効能は源泉によって異なるが、きりきず、やけど、胃腸病、虚弱児童、慢性皮膚病、慢性婦人病、動脈硬化症、神経痛など。

■写真の湯

夏油温泉 元湯夏油

TEL: 090-5834-5151

<http://mizuki.sakura.ne.jp/~geto/>

〈アクセス〉

車／東北自動車道北上金ヶ崎ICから県道122号経由約40分。電車／JR東北新幹線・東北本線北上駅からバス約65分

立寄処

高村山荘(高村光太郎記念館)

彫刻家・詩人の高村光太郎が晩年の7年間を過ごした旧居。当時の質素な暮らしが分かる山荘を見学できるほか、近くに建てられた記念館では、高村光太郎の彫刻作品や書、山荘生活での愛用品などを鑑賞できる。



<http://www.hanamaki-takamura-kotaro.jp/>

夏油温泉

azbil 創業1906年 山武の進化
グループ 人を中心としたオートメーション

国内

- 山武 ●山武商會
- 山武コントロールプロダクト
- 山武フレンドリー ●山武ケアネット
- 安全センター ●セキュリティフライデー
- 原エンジニアリング ●金門製作所
- 山武瑞穂 ●ロイヤルコントロールズ
- 太信 ●テムテック研究所

海外

- アズビル韓国 ●アズビル台湾 ●アズビル金門台湾
- アズビルベトナム ●アズビルインド
- アズビルタイランド ●アズビルフィリピン
- アズビルマレーシア ●アズビルシンガポール
- アズビル・ベルカ・インドネシア ●アズビル機器(大連)
- アズビル情報技術センター(大連)
- 山武環境制御技術(北京)
- アズビルコントロールソリューション(上海)
- 上海アズビル制御機器 ●アズビル香港 ●上海山武自動機器
- アズビルノースアメリカ ●バイオビザンシステムズ
- アズビルブラジル ●アズビルヨーロッパ

〈販売店〉

7 July 2011

azbil グループ PR 誌 azbil (アズビル)



本誌には、環境にやさしい大豆油インキと森林認証紙を使用しています。本誌からの無断転載・複製はご遠慮ください。